

第 8 期みやぎ高齢者元気プランの実績

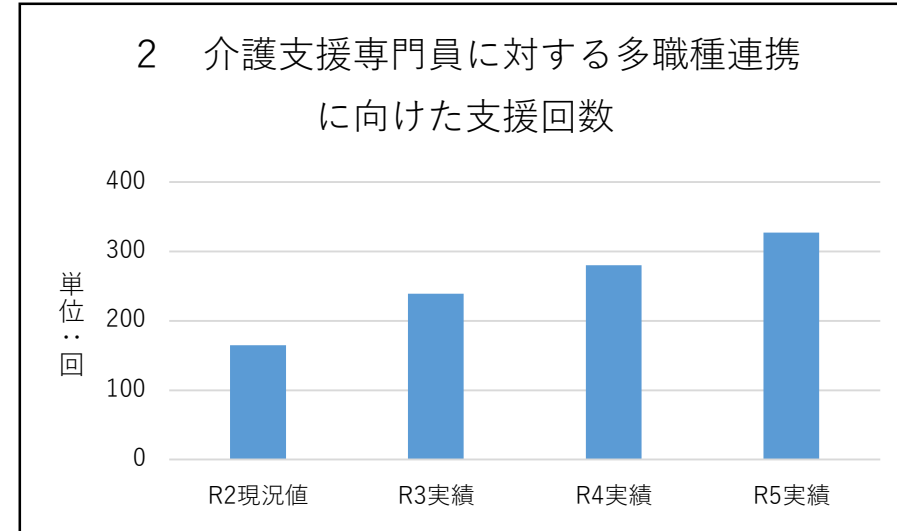
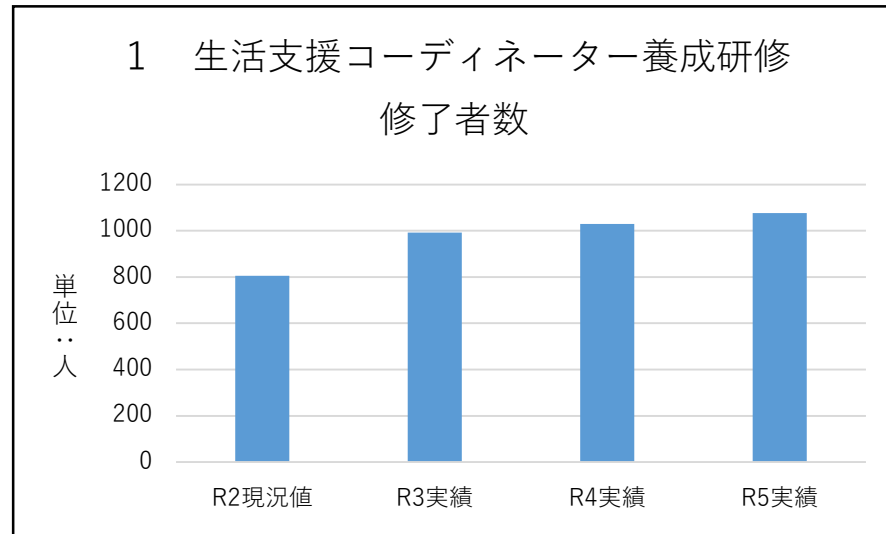
【計画期間】令和 3 年度から令和 5 年度

基本的目標	目標指標	第 8 期策定時		目標値 (R5年度末)	R3年度実績	R 4 年度実績	R5年度実績	達成率	取組状況
		調査時点	数値						
みんなで支え合う 地域づくり	生活支援コーディネーター養成 研修修了者数	R1	805人 (累計)	1,055人 (累計)	992人 (累計)	1,029人 (累計)	1,076人 (累計)	102.0%	令和5年度末時点で研修修了者は1,076人となった。高齢者が多様な主体とのつながりや多様な活動への参加により、自分らしく暮らせる地域づくりをコーディネートする人材を養成できた。
	介護支援専門員に対する多職種 連携に向けた支援回数	R1	165回 (累計)	285回 (累計)	239回 (累計)	280回 (累計)	327回 (累計)	114.7%	地域包括ケア体制の要である介護支援専門員に対し、医療職及び他の福祉職等を講師とした助言、指導、講習会、意見交換等を県内全域で実施したことで、多角的視点を持った現場対応力の向上が図られた。
自分らしい生き方 の実現	週 1 回以上実施される住民運営 による通いの場参加率	H30	1.9%	5.5%	2.4%	2.2%	2.3% 【暫定】	41.8%	令和3年度から令和5年度の実績については、平成30年度1.9%に対して0.3から0.5ポイントの上昇がみられる。 各年度ともに、上位市町村の参加率は10%を越えていることから令和5年度の上位5市町村の要因等を調査し、県内市町村に共有している。
	成年後見制度利用促進に係る市 町村計画の策定	R2.10	6 市町村	全 35 市町村	13市町村	20市町村	24市町村	68.6%	多くの市町村で地域福祉計画と一体的な形で策定が進んだ一方で、目標は未達成となっている。県では、策定済市町村の情報を共有するなど、未策定市町村への支援を継続しており、令和6年度以降も策定市町村数は増える見込みとなっている。
	成年後見制度利用促進に係る中 核機関の設置	R2.10	1 市町村	全 35 市町村	4市町村	7市町村	8市町村	22.9%	第8期計画期間の達成率は約20%に留まった。県では、市町村間の情報共有と専門職との連携強化を目的とした情報交換会の開催などの支援を継続しており、令和6年度以降も設置市町村数は増える見込みとなっている。
	チームオレンジ立ち上げ市町村 数	R2	0 市町村	17 市町村	2市町村	4市町村	7市町村	41.2%	チームオレンジを立ち上げる市町村職員やキャラバンメイト等を対象としたチームオレンジコーディネータ研修を令和4年度及び令和5年度に実施したが、新型コロナ対応等によりチームオレンジを立ち上げる市町村が伸び悩んだ。 令和6年度も継続して研修会を実施し、令和6年度末までに7市町村がチームオレンジを立ち上げる予定となっている。
安心できるサービ スの提供	小規模多機能型居宅介護事業所 数	R2.12	76 か所	88 か所	76か所	78か所	79か所	89.8%	市町村計画で見込んだ介護サービス量から必要な施設数を目標と設定し、市町村を通じて施設整備を支援した。第8期計画中はコロナ禍の影響に加え、介護人材の不足がサービスに直結する形態であることから、廃止や休止が増加し、加えて新たに参入する事業者が減少したため実績が伸び悩んだ。
	定期巡回・随時対応型訪問介護 看護事業所数	R2.12	18か所	19 か所	18か所	19か所	20か所	105.3%	市町村計画で見込んだ介護サービス量から必要な施設数を目標と設定し、市町村を通じて施設整備を支援した。

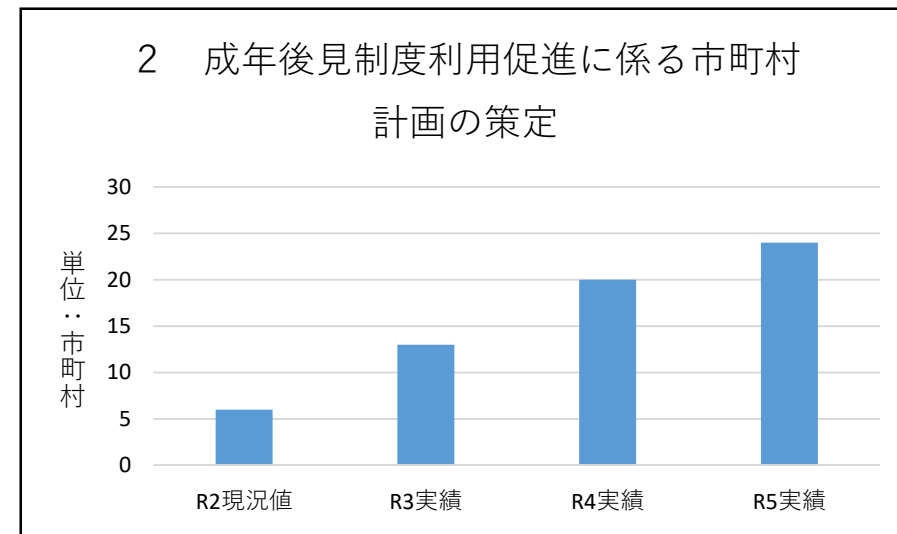
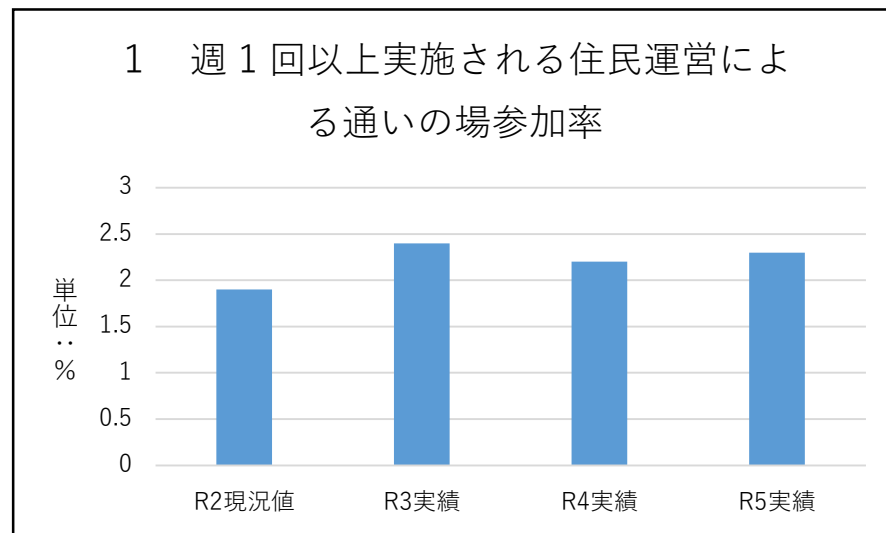
基本的目標	目標指標	第 8 期策定時		目標値 (R5年度末)	R3年度実績	R 4 年度実績	R5年度実績	達成率	取組状況
		調査時点	数値						
安心できるサービスの提供	介護職員の人数	R1	32,870人	38,942 人	33,507人	34,027人	33,112人	85.0%	外国人介護人材の確保や介護ロボット・ICT機器の導入支援等による職員の負担軽減をはじめとする各施策を実施したが、新型コロナウイルス感染症による入国制限や事業所内での感染症対応の影響から実績が伸び悩んだもの。令和6年度も継続した取組を実施し、介護人材の確保・養成・定着を図る。
	特別養護老人ホーム入所定員数	R2	12,464人	13,289 人	12,490人	12,826人	13,056人	98.2%	入所待機者解消のため8期プランにおいては825床の整備目標を設定し市町村支援を実施してきたが、資材高騰による建設費増大や介護人材不足を理由に、市町村が公募しても応募がなく、目標を達成できなかった。 待機者の解消には至っていないもののコロナ禍を経て、在宅での介護を希望する高齢者が増えているなど、介護ニーズの変化もあり、待機者の減少や特養の空床が1割程度生じている現状を踏まえ、9期プランにおいては、275床を整備目標とし、計画的な施設整備が図られるよう市町村を支援する。

第8期計画に関する指標の推移

(1) みんなで支え合う地域づくり

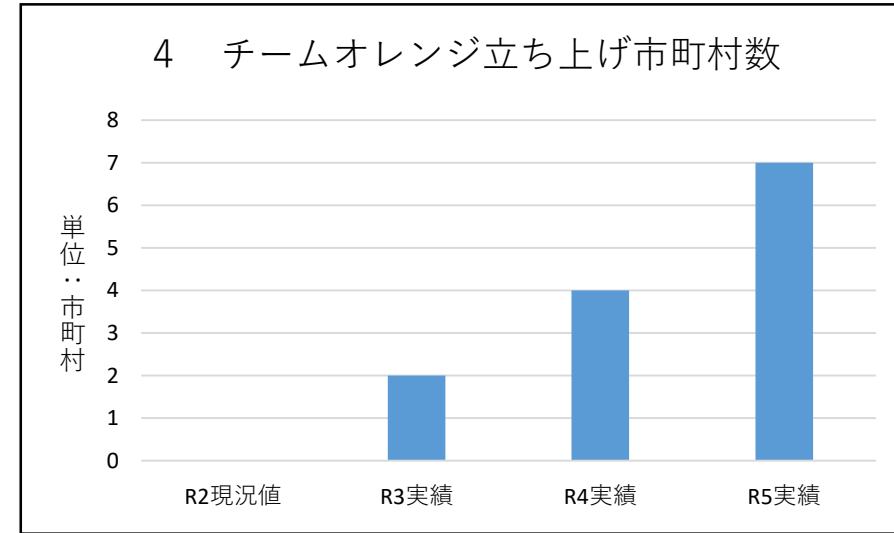
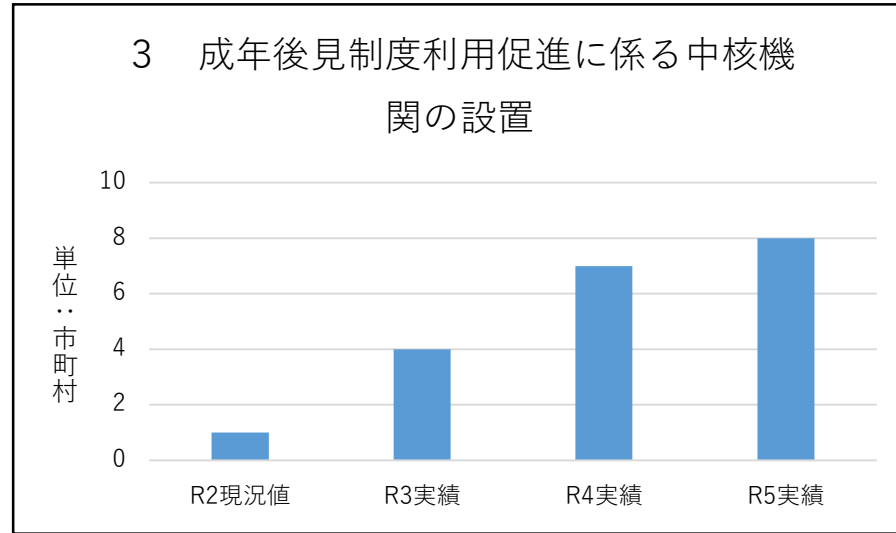


(2) 自分らしい生き方の実現

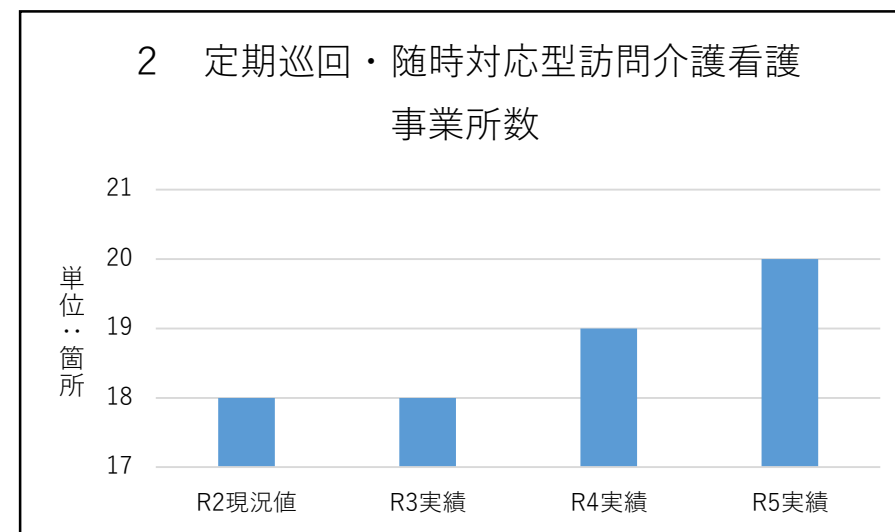
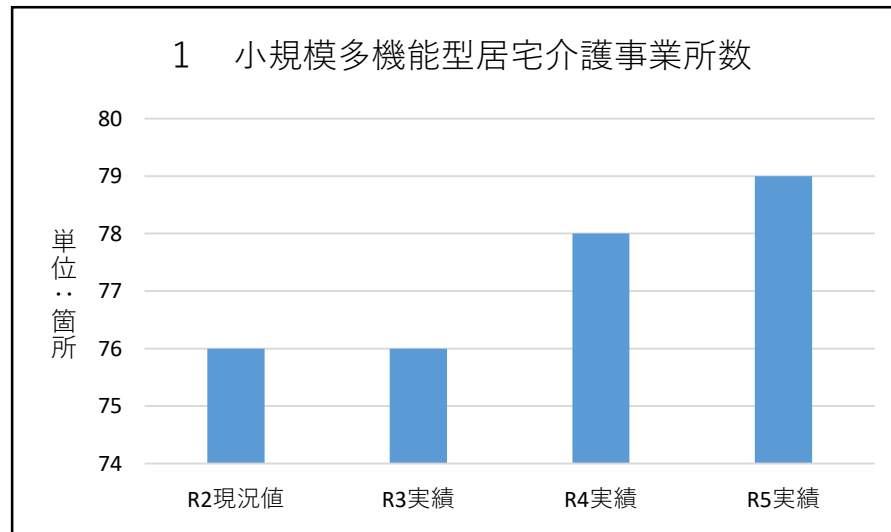


第8期計画に関する指標の推移

(2) 自分らしい生き方の実現



(3) 安心できるサービスの提供



第8期計画に関する指標の推移

(3) 安心できるサービスの提供

